

安全データシート (SDS)



自社識別コード： Radiometer-JPSDS- M3 190-4.0
改訂： 2026-0205
製造所識別コード Radiometer SDS M3 190-6.4(2024-07-15)

ページ数
初版：

1/4
2019-04-04

1 化学品及び会社情報

製品の識別名

製品名：(血液ガス分析装置の校正溶液)

944-128 S1820 Cal 1 溶液 200ml 【ABL8X0/5 シリーズ用】

944-131 S4980 リンス溶液 600ml 【ABL8X0/5 シリーズ用】

944-158 S4987 リンス溶液(クレアチニン)600ml 【ABL8X0/5 シリーズ用】

本物質または混合物に関連して特定されている用途、および望ましくない使用法

用途： 血液ガス分析装置に使用する電解液/洗浄液/校正用(キャリブレーション)溶液

本安全データシートの提供者に関する情報

提供者： <販売元> ラジオメーター株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35
電話： 03-4331-3500
<製造元>ラジオメーターメディカル社 (Radiometer Medical ApS)
Aakandevej 21 DK-2700 Broenshoej, Denmark
ホームページ：www.radiometer.com

2 危険有害性の要約

GHS ラベル要素 なし
注意喚起語： なし
対象物質： 2-メチル-2H-イソチルジアゾル-3-オン
H317 アレルギー性皮膚反応を 起こすおそれ。
P280 保護手袋、目と顔の保護具を着用してください。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/ 手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類 を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
その他： 本製品は水生生物に非常に有毒な物質をごく少量含んでいる。

3 組成及び成分情報

混合物

バッファー、水、塩、保存料

％：	CAS 番号：	化学名：	危険有害性 ID
0.0015～ 0.025	2682-20-4	2-メチル-2H-イソチアゾル-3-オン	急性毒性 2 H330 急性毒性 3 H301 急性毒性 3 H311 皮膚腐食性/刺激性 1B H314 重篤な眼の損傷 1 H318 感作性、皮膚 1A H317 水生生物毒性 急性毒性 1 H400 水生環境有害性、慢性毒性 1 H410
<0,01	9036-19-5	オクチルフェノールエトキシレート	急性毒性区分4・経口;H302 皮膚刺激性区分2;H315 重篤な眼の損傷 1 H318 水生生物毒性 急性毒性 1 H400 長期水生環境毒性・区分 1

4 応急措置

<u>応急措置の詳細：</u>	包装のサイズを考慮すると、リスクは微小と考えられる
吸入：	新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。
皮膚への接着：	汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。湿疹または他の皮膚障害の場合：医療処置を受け、これらの指示を持参する。
目への接着：	直ちに大量の水で少なくとも 15 分間洗い流す。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合：医療処置を受け、これらの指示を持参する。
摂取：	直ちに口をすすぎ、水を 1~2 杯 飲む。曝露された者を観察下に置く。不快感がある場合は、本 SDS を持参して病院に搬送する。

5 火災時の措置

<u>適切な消火剤：</u>	周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。
<u>使ってはならない消火剤：</u>	特記なし。
<u>消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：</u>	職場で指示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

6 漏出時の措置

<u>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：</u>	皮膚及び目への接触を避ける。
<u>環境に関する注意事項：</u>	排水溝、水路または地面への放出を避ける。
<u>封じ込め及び浄化の方法及び機材：</u>	漏出物を適切な吸収材で吸収する。汚染された場所を水で洗浄すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

<u>取り扱い</u>	
<u>安全な取り扱いのための注意事項：</u>	皮膚や目に触れないようにすること。 本製品は、装置内のヒトの血液に接触するため、取扱う際は、各施設で定めた感染防止手順に従うこと。使用後の本製品は感染性があるものとみなすこと。
<u>不適合物質を含む安全な保管条件</u>	
貯蔵状態：	元の密閉容器内で着露しないように保存すること。
<u>具体的な最終用途</u>	
具体的な用途：	本製品には関係していない。

8 ばく露防止及び保護措置

<u>管理上のパラメータ</u>	
職業性ばく露限界値は指定されていない。	
<u>ばく露防止措置</u>	
技術上の措置：	適切な換気を提供する。スプレーミスト/エアゾールの生成を避ける。
人体の保護：	専門業者と相談し、CEN 基準などに準拠した個人用保護用具を選択すること。
手の保護：	ゴム手袋を着用する。ニトリル製ゴム手袋を推奨する。
目の保護：	飛沫のリスク：ゴーグル又はフェイスシールドを着用する。
衛生手段：	取り扱い後、手を洗う。

9 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体	pH：	6.8-7.8
色：	データなし	動粘性率：	データなし
臭い：	無臭	溶解性：	水に完全に溶解。
融点/凝固点：	データなし	n-オクタノール/水分分配係数 (log 値)：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	約 100°C	蒸気圧：	データなし
可燃性：	データなし	密度及び/又は相対密度：	約 1.0
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	データなし	相対ガス密度：	データなし
引火点：	データなし	粒子特性：	データなし
自然発火点：	データなし	分解温度：	データなし

10 安定性及び反応性

<u>反応性：</u>	知見なし。
<u>化学的安定性：</u>	規定の保管条件下で安定。
<u>危険有害な反応の可能性：</u>	知見なし。
<u>避けるべき条件</u>	特記なし。
<u>混触危険物質：</u>	知見なし。
<u>危険有害な分解生成物：</u>	特になし。
<u>避けるべき条件/物質：</u>	特記なし。

11 有害性情報

急性毒性	分類基準に該当しない
皮膚腐蝕/刺激性	分類基準に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類基準に該当しない
呼吸感作性または皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。吸入した場合、アレルギーや喘息の症状、呼吸困難を引き起こす可能性がある。
生殖細胞変異原性	分類基準に該当しない
発がん性	分類基準に該当しない
生殖毒性	分類基準に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類基準に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類基準に該当しない
誤嚥有害性	分類基準に該当しない
吸入	分類基準に該当しない

12 環境影響情報

<u>生態毒性</u>	本製品は、水生生物に極めて毒性が強い物質を微量含んでいる。 <u>2-メチル-2H-イソチルジアゾル-3-オン</u> M-ファクター (急性): 10, M-ファクター (長期的): 1 <u>オクチルフェノールエトキシレート</u> M-ファクター (急性): 10, M-ファクター (長期的): 10
<u>残留性および分解性</u>	本製品は生分解するとされる。
<u>生体蓄積性</u>	生体内に蓄積しない。

土壌中における移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法:	本製品の容器及び残留物は、産業廃棄物として処理すること。 本製品の廃液は、測定した血液検体と一緒に、装置の廃液ボトルに排出されるため、廃液及び廃液ボトルは、感染性廃棄物として処理すること。
-----------	---

14 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA、ADR/AND/RID)の対象外です。

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度) :	本品では該当しない。(オクチルフェノールエトキシレート：基準値未満であるため。)
労働安全衛生法:	本品では該当しない。(基準値の1%未満であるため。)
毒物及び劇物取締法:	該当しない

<国内規格>

JIS Z 7253:2019 : GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

16 その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

[NITE-CHRIP \(NITE 化学物質総合情報提供システム\)](https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop) (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

免責事項

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本データシートは、本製品が所定の条件下にて、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている通常の取り扱いを対象としたものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合や、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。